

# 研究目的

事業場数で9割以上を占める中小企業への両立支援の普及に向けたチェックリスト・支援モデル案を作成すること。

## 研究方法

以下のサブテーマに基づき研究を遂行

### ① ソーシャルマーケティングを加味した探索的統計手法による、中小企業の両立支援実施にあたり何が足りないかのチェックリスト（点数化）の作成：量的研究

石川産業保健総合支援センター、京都工場保健会、全国健康保険協会千葉支部、東京商工会議所の協力のもと2017年11月より5,000社に自記式質問紙による郵送調査を実施、2018年4月までに1,268社から記入済みアンケートを回収し、がん社員の復職に関する統計解析を行った。

### ② 中機構の両立支援コーディネーターと両立支援促進員、社労士等を対象とした質的研究による各専門職/スタッフの支援モデル案の作成：質的研究

機構の両立支援コーディネーターと両立支援促進員、社労士等を対象とした質的研究による各専門職/スタッフの支援モデル案の作成に関して、前年度からの解析結果の論文化を行った。

## 研究成果・結論

### ① ソーシャルマーケティングを加味した探索的統計手法による、中小企業の両立支援実施にあたり何が足りないかのチェックリスト（点数化）の作成：量的研究

#### がん社員が復職できなかった企業の特徴

##### ① 担当・窓口がない

- 病気を理由に休暇や休業をとる際、社員が相談できる担当者がいない
- 病気になっても無理なく働けるよう、社員が相談できる窓口がない

##### ② 柔軟に対応できる制度がない

- 勤務時間/勤務形態の柔軟な対応)ができない
- 人事制度を柔軟に運用できていない

##### ③ 社員教育や周囲の理解が足りない

- 治支援の方法について、社員に教育や啓発を行っていない
- 職場が両立支援への理解がない

中小企業における「両立支援実施に向けたチェックリスト」(案)を作成し、21名の専門家を交えてパネル会議を実施(2018.11.28 ワテラスコモンホール)

両立支援や健康に関する取り組みが既に行われている事業場の特徴

平均年齢が40歳代以下および女性の割合が50%以上の事業場で行っている割合が高い

両立支援の啓蒙ターゲットは女性社員が少なく、平均年齢50歳以上の事業場

## ②中機構の両立支援コーディネーターと両立支援促進員、社労士等を対象とした質的研究による各専門職/スタッフの支援モデル案の作成：質的研究

昨年度の研究を論文化して、この際明らかになった問題点を改善するため、東大病院での両立支援の取り組みとしては、まずガンについて窓口があることを初期の段階で明確にするためのリーフレットを作成し、患者さんへの案内をスタートした。また、職員向けの両立支援の講習会を2019/1/30に学内で開催した。東大病院の担当窓口と東京都社労士会が連携する仕組みを構築した。

## 今後の展望

企業・経営者への量的研究

アンケート調査による現状把握・分析済

- 両立支援・取組状況判断(優良認定)基準チェックリストの中小企業向け提案、解説書にてより分かりやすくする工夫を行う
- 認知度 **up!** インビテーションツールの開発

サポートする人への質的研究

両立支援に携わる人の調査と分析

- 継続・反復する治療を余儀なくされる疾病に罹患した従業員がいる企業経営者・担当者に安心かつ明確な支援モデルの提案